

(様式1)

学校番号 (小・中55)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(佐鳴台小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

テーマ「つながる力を育む学校支援活動の充実」を実現させるために、「つながり」を踏まえてサポーターの必要性をさらに検討し、充実させていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・つながる力を育むためには、どうしたらいいのかブレインストーミングを行い、それぞれの立場と角度から見える鋭い意見も交えることができた。
- ・校長先生からの経営方針で様子がわかり、それを基にして話し合うことができた。しかし、先生方の考えを知り、それに寄り沿って意見を述べられるとよいと思う。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・抽象的な熟議に時間がかかり、具体的な活動へは落とし込めていない。基本方針に時間をかけて熟議できたのはいい点であるが、具体的な活動まで熟議する時間は必要である。
- ・学校が諸組織と連携し、教育の質を高める取り組みが充実してきていると感じる。しかし、本協議会で取組を提案して具体化するにはまだ検討が必要と感じる。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・協議した内容を会議録にして、ホームページに載せたり、儀式や学校便り等で本会の存在を知らせたりすることで、情報発信がなされている。
- ・協議会外からは何を話し合ってるか質問される場合もよくある。学校の児童・保護者・教員の皆様への発信はあまり無いイメージである。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・多文化共生推進のために、コミュニケーション能力を高め、「つながる力」を育んでいく。
- ・時代の変化に応じた、学校教育活動の在り方を考える。